

12月

みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

- 14時30分から15時30分
- 12月1日は展示観覧料が必要です。
- ※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

1日
(11月11日)

話者：平井京之介（国立民族学博物館 教授）
話題：タイで働くということ
会場：本館展示場（東南アジア横休憩所）

8日
(11月11日)

話者：鈴木紀（国立民族学博物館 准教授）
話題：ポリビアのカカオ・フェスティバルから「世界」を見る
会場：本館第3セミナー室

15日
(11月11日)

話者：岸上伸啓（国立民族学博物館 教授）
話題：アラスカ先住民イヌピアットの捕鯨
会場：本館第3セミナー室

22日
(11月11日)

話者：太田心平（国立民族学博物館 准教授）
話題：急増する生涯独身者、そこから読み解く韓国現代事情
会場：本館第3セミナー室

1年間みんなくに何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
 - ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
 - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

編集後記

外国から日本に帰国してホッとすることの定番の一つは「白いご飯」らしい。私の場合は、どっぷり浸かれるお風呂と畳であり、ご飯にはそれほど執着しない。昔、フランスに長期滞在した際には、二年間ほとんど白米を食べずに過ごしたが、禁断症状もなく、ワインとバゲットとチーズがあれば幸せだった。おいしいければ、パンでも、麺でも、じゃがいもでも、私の味覚は満足する。

こういう輩が日本に増えたために、「減反制度」というものが導入されたのであろうが、その制度が見直されているというニュースが目につくようになった。政治・経済にはどちらかというところがあるので、減反が廃止された場合の波及効果が今一つ読めないが、田園は増えるということなのだろうか。電車や車で遠出をせずとも、身近なところで青々した稲田の風景に出会うことができるようになったら、日本も捨てたもんじゃな、と思えるかもしれない。そのためには、ご飯をもっと食べなければ。
(山中由里子)

- 表紙 大阪「新梅田シティ」の「新・里山」にある水田。地元の子どもの自然体験に活用される。

次号の予告

特集
馬

月刊みんなく 2013年12月号

第37巻第12号通巻第435号 2013年12月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂
編集委員 山中由里子（編集長） 樫永真佐夫 久保正敏
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一欒
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

- *本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
- *本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料) から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてください。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなくフェイスブック
<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>
みんなくツイッター
<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

